

第71期中間期 株主通信

2021年1月1日 → 2021年6月30日

証券コード：4248

Standoutなパッケージングソリューションを目指し、豊かで楽しい生活の創造に向けて挑戦と進化をつづけてまいります。

代表取締役社長
竹本 笑子

■ トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患されている方々や、困難な状況におられる皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

当社グループは、生活上必要不可欠な容器－カたち(容)あるウツワ(器)－をつうじて、お客様の商品である内容物の価値を安全に包み、さらにその価値と個性化を高め「世界の器文化に貢献」することを使命としています。

その使命を果たすために、当社グループは世界の持続可能な発展に貢献する容器開発を継続して進め、お客様の求める商品価値の創造とより高い満足を目指し、Standoutなパッケージングソリューションを提供してまいります。

2015年に目標設定されたSDGsやパリ協定の採択を契機に、世界で環境問題への関心が高まっています。当社では30年前に自然に還りやすい「生分解性プラスチック」の容器を開発して以来、植物由来のバイオマスプラスチックやリサイクルされた原材料を使用した製品、プラスチック材料の使用量を削減した製品、詰め替え、付け替え機能の付加により繰り返し使用できる製品など、環境配慮型の製品を幅広いラインナップで提供しています。さらに今後開発する新製品に関しては原則としてカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーに配慮することを掲げております。今後も当社は循環経済・低炭素社会を実現化するための取り

組みを行っていく方針です。

さて、2021年上半期の当社業績は連結売上高78億82百万円、連結営業利益9億53百万円となりました。新型コロナウイルス感染症の影響は残っているものの、世界各地で経済活動が回復基調となる中、スタンダードボトルを軸とした開発提案型の営業活動を展開し、環境への取り組みも含めて評価いただいたことで新規案件の獲得につながり、お客様からの追加注文も増えたことで売上高は増収となりました。しかし、今年初めからの原油価格の上昇による樹脂原材料価格の上昇、中国政府の施策により昨年は免除されていた社会保険料負担が今年は通常に発生しているなどの要因があり、連結営業利益は前年比96%となりました。

最後になりますが、当社は配当方針として配当性向20%以上を目標として利益還元を実施することを定めていましたが、利益還元については配当金に集約して実施していく方針とし、今期より配当性向の目標を30%以上とすることを決めました。この結果、今回の中間配当金は1株当たり14.5円(5円の増配)とし、株主優待制度については廃止とさせていただきました。

株主の皆様にはこの点をご理解いただくとともに、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集 サステナビリティへの取り組み

当社では、容器が環境に及ぼす影響を考慮し、循環経済・低炭素社会を実現していくために、「2025年までに約束する3つのマイルストーン(環境マイルストーン)」(※)を目標に掲げその達成に向け取り組んでおります。

環境配慮型の製品として植物由来のプラスチックやリサイクル樹脂を原材料とした製品、「軽量化容器」「付け替え容器」「詰め替え容器」など、石油由来の樹脂原材料削減、

※「2025年までに約束する3つのマイルストーン(環境マイルストーン)」につきましては、こちらをご参照ください。
<https://www.takemotopkg.com/ja/sustainability/>

カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーにつながる環境対応容器のラインナップ拡充を進めております。

お客様からの環境対応容器に関するお問い合わせ、商談機会も増えてきています。

今回は、環境対応容器の原材料として使用しているバイオマスプラスチックについてご説明いたします。

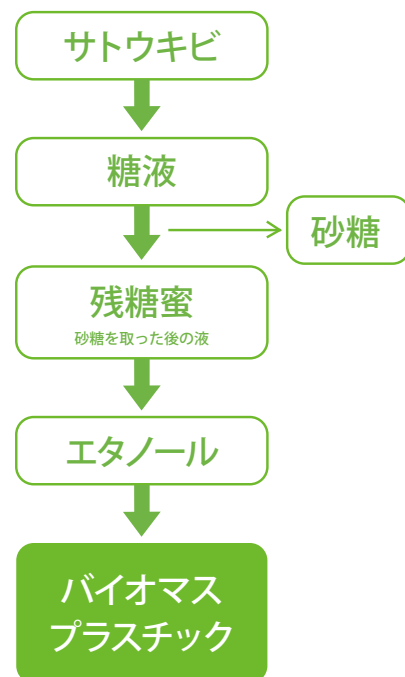
● バイオマスプラスチック(バイオPE・バイオPET)とは？

サトウキビを原料とした植物由来のプラスチックです。サトウキビから砂糖を抽出した後の残糖蜜を原料としており、限りある化石資源の使用量低減につながります。

サトウキビの育成段階でCO₂を吸収するので、石油由来のプラスチックに比べ、CO₂排出量低減効果もあります。

(植物由来度 - バイオPE：約96% / バイオPET：約20～30%)

バイオマスプラスチック製品例



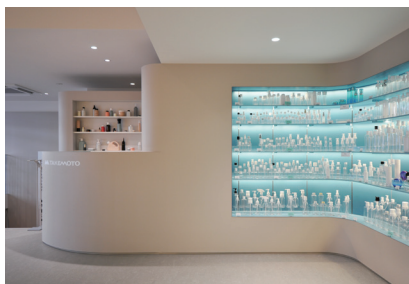
合羽橋ショールーム リニューアルオープン

本社(東京都台東区)近くの厨房向け用品の取扱いが多い「かつば橋道具街」の中にある合羽橋ショールームが、2021年4月20日(火)にリニューアルオープンいたしました。

リニューアルした合羽橋ショールームでは、「バイオマス容器」「軽量化容器」「付け替え容器」「詰め替え容器」などの環境対応容器を含めて約1,100種類の容器を展示してお

り、ご来店されるお客様のご要望に応じた製品のご紹介やご提案を行っています。

当社のショールームは合羽橋のほか、大阪、福岡、名古屋の各営業所に併設されており、スタンダードボトルの購入を希望されるお客様へ1ケース(容器の大きさにより数十個～数百個入り)単位で販売も行っています。



配当予想の修正、株主優待制度の廃止

2021年12月期中間配当金ならびに期末配当金に関する配当予想の修正および株主優待制度の廃止について、お知らせいたします。

【配当予想の修正】

《修正の内容》

2021年1月29日に公表いたしました配当予想に対しまして、2021年6月30日時点の株主の皆様に対して支払う中間配当金を14.5円とするとともに、2021年12月31日時点の株主の皆様に対する期末配当金予想を5円増額の1株当たり14.5円に変更し、年間の配当予想金額を1株当たり29円に修正いたしました。

《修正の理由》

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、配当性向については20%以上とすることを定めておりました。

また、2014年の株式上場以降、当期純利益を継続して計上しており、現在の中期経営計画期間で想定されている設備投資に必要な内部留保は確保されていることから、内部留保の充実は継続しつつ、配当による株主の皆様への安定的な利益還元の実施を推進するべく、2021年12月期より配当性向を30%以上として利益還元を実施していくことを新たな配当方針といたしました。

2021年12月期 配当金

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2021年1月29日公表)	9円50銭	9円50銭	19円00銭
今回修正予想		14円50銭	29円00銭
当期実績	14円50銭		
前期実績 (2020年12月期)	9円50銭	9円50銭	19円00銭

【株主優待制度廃止】

《廃止の理由》

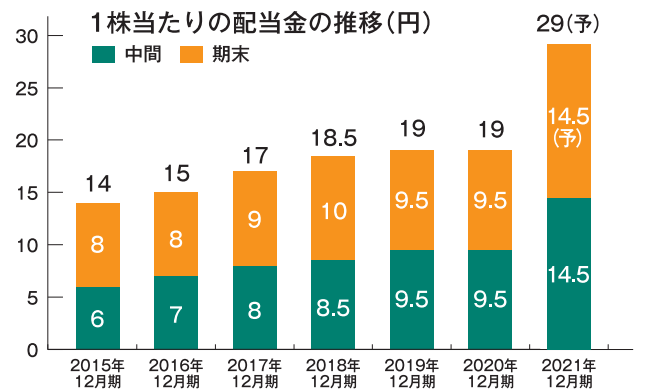
当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社のオリジナルボトルを実際にご利用いただくことで、当社事業内容へのご理解を深めていただくことを目的として2016年8月に株主優待制度を導入、以後本年4月までの5年間にわたり当社が企画した株主優待品をお贈りし、ご好評をいただいておりますが、利益還元のあり方の観点から慎重に検討を重ねました結果、配当による利益還元に集約することとし、株主優待制度を廃止することといたしました。

今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の向上に取り組んでまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

《株主優待制度の廃止時期》

2020年12月末日の当社株主名簿記載の株主の皆様を対象として2021年4月に贈呈した株主優待をもって制度廃止となります。

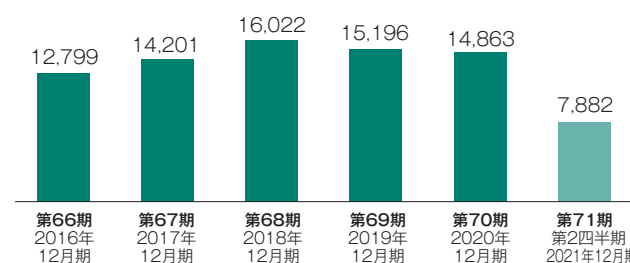
※2021年12月末日時点の株主の皆様を対象とした、2022年4月の贈呈はございません。



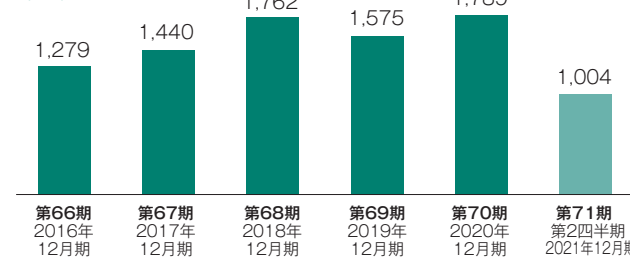
※当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2018年12月期以前の1株当たり配当金の金額は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

連結決算ハイライト

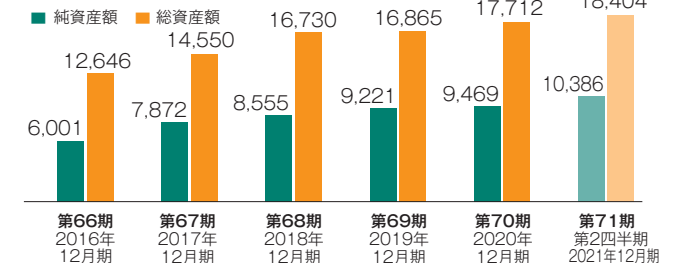
売上高 (単位:百万円)



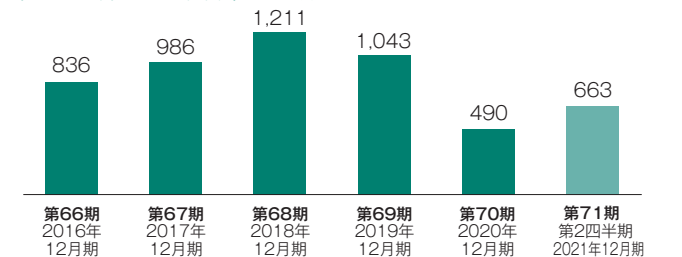
経常利益 (単位:百万円)



純資産額／総資産額 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



会社概要／株式の状況 (2021年6月30日現在)

会社概要

商号	竹本容器株式会社 Takemoto Yohki Co., Ltd.
代表	竹本 笑子
設立	1953年5月19日
所在地	〒111-0035 東京都台東区西浅草一丁目5番15号
資本金	8億342万1,725円
事業内容	プラスチック製等の包装容器の製造及び販売

役員

代表取締役社長	竹本 笑子
常務取締役	深澤 隆弘
取締役	竹本 えつこ
取締役(監査等委員)	穴田 信次
	田中 達也
	石川 雅郎
	小川 一夫

株式情報

発行可能株式総数	40,997,600株
発行済株式の総数	12,529,200株
株主数	8,626名

株式分布状況



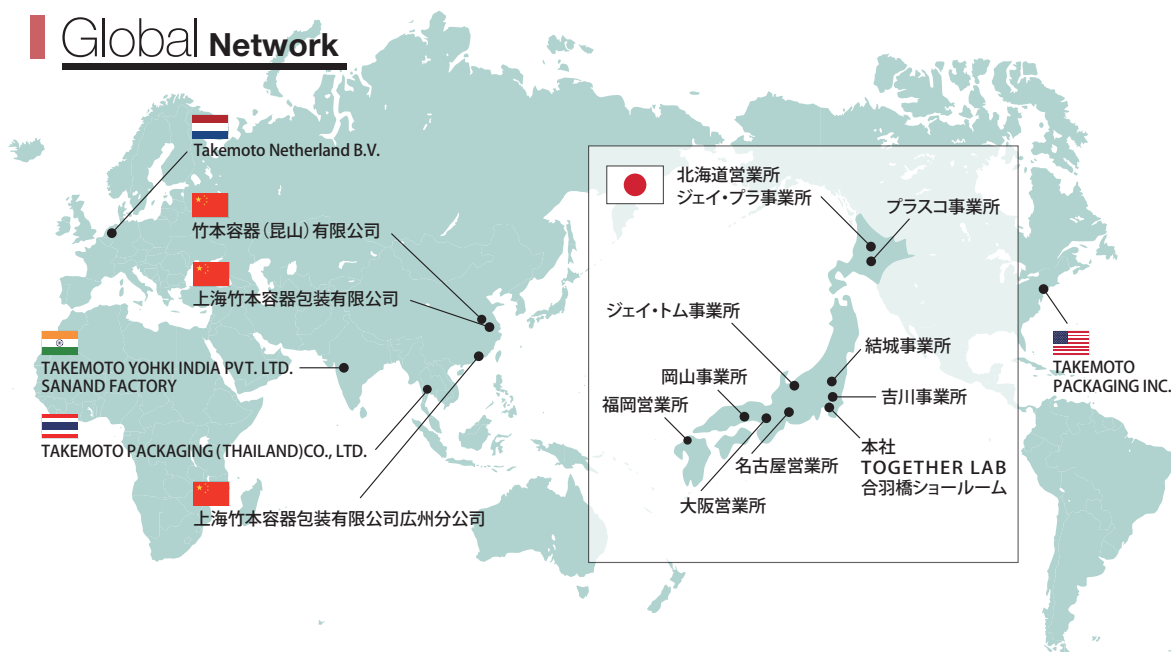
大株主（上位10名）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
竹本 笑子	3,370,000	26.90
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	773,000	6.17
竹本容器若竹持株会	641,700	5.12
竹本 えつこ	613,900	4.90
深澤 隆弘	533,200	4.26
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	437,900	3.50
竹本 雅英	426,000	3.40
深澤 英里子	220,000	1.76
竹本 力	200,000	1.60
山本 勝人	158,000	1.26

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎事業年度の末日翌日から3ヶ月以内
株主名簿管理人 (同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(フリーダイヤル)
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告としております。電子公告は当社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下のとおりです。 https://www.takemotokk.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

Global Network



本社



TOGETHER LAB



合羽橋ショールーム



竹本容器株式会社

<https://www.takemotopkg.com> 〒111-0036 東京都台東区松が谷二丁目21番5号 TEL: 03 (3845) 6107 (代表)

